

# 内田ため池

(うちだためいけ)



全景



池と周辺体験田



田んぼの学校

## ため池の概要

### ため池の所在地

岩手県奥州市

### ため池の特徴

内田ため池は、築造年は不明で流入状況もよく分かっていませんが、不思議なことに水が切れることがなく、現在も池直下の約20aの水田(農業体験田)の水源として活用されています。

この地区では、古くから田植えは神事を執り行った後、田植唄を唄いながら行われていましたが、近年は「田んぼの学校」として、岩手大学のため池サークル「IKE-ikc」の女子学生が昔ながらの服装(通称:早乙女隊)で田植えをしています。

ため池を核とした農業を通じて文化・伝統が受け継がれ、また世代や集落を超えた交流が実現しています。

ため池の水を利用してモチ米「ヒメノモチ」の作付けが盛んで、秋には収穫祭を行って収穫の喜びを集落全体で分かち合っており、ため池が人と人とのつながりや特色ある産地の形成に大きく寄与しています。

毎年8月には、改良区、地元住民、関係行政機関が参加して自然観察会が開催され、併せて全員でのゴミ拾い、草刈り等も行われています。

周辺には希少種の植物があり、草刈りも十分配慮しながら行われています。

## 関連情報